

施工状況等報告書

平成 30 年 4 月 27 日

長野県知事 阿部 守一 様

佐久市長 柳田 清二 様
小諸市長 小泉 俊博 様
御代田町長 茂木 祐司 様
軽井沢町長 藤巻 進 様

所在地 長野県佐久市中込 3056 番地佐久市役所内
名称 佐久市・北佐久郡環境施設組合
組合長 柳田 清二

長野県環境影響評価条例第 32 条第 1 項の規定により、下記のとおり送付します

記

対象事業の名称	新クリーンセンター建設事業
報告対象期間	平成 30 年 1 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで
環境の保全のための措置	詳細は別紙添付資料のとおり
対象事業の実施状況	建設地では、敷地造成工事が竣工し、建設工事に着手した。 【敷地造成工事】 平成 30 年 2 月 28 日に竣工した。 【施設本体建設工事】 実施設計が完了した。 平成 29 年 12 月 8 日に行った建築確認の申請について、平成 30 年 1 月 31 日に手続きが完了した。 公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。 平成 30 年 3 月 27 日より山留工事に着手した。

(備考) 必要に応じ、環境の保全のための措置の状況又は対象事業の実施状況に係る図面又は写真を添付すること。

施工状況等報告書添付資料「環境保全措置実施状況一覧表」

期間：平成30年1月1日～平成30年3月31日

環境影響 評価項目	保 全 対象種	措置 項目	措置内容	添付書類
植 物	ヤエガワカンバ	成木の移植	2月26日に移植個体のキノコ発生に対する処置。 高所作業車の使用により、移植個体に発生したキノコによる枯れ枝切除、枯れ枝以外に発生したキノコやコケの除去、幹の巻き布の除去、倒木防止用のロープ除去、播種用の種子採取を行った。	写真ヤエー1, 2, 3
			3月8日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 果穂（種子）、花穂（雄花序）あり。	写真ヤエー4
		種子保存及び播種・育苗	3月8日に播種個体の幼樹移植（植樹）。 ポットの幼木6個体のうち、比較的樹高の高いNo. 3、No. 5及び佐久市・北佐久郡環境施設組合で育苗した幼木1個体（No. 7）をヤエガワカンバ成木に近い対象事業実施区域内に移植（植樹）した。	写真ヤエー5, 6
	オニヒョウタンボク	成木の移植	3月8日に移植個体の状況確認（樹木活力度調査）。 全ての個体で落葉、冬芽形成。	写真オニー1
			挿し木及び生育管理	3月2日に挿し木用の挿し穂を採取。 挿し木用の挿し穂を各移植個体から1～2本、計10本を採取した。
		3月8日に挿し木を実施。 平成30年3月2日に採取した挿し穂から分枝した挿し木20本に水上げと発根促進剤を施してプランターへ挿し木した。		写真オニー3
動 物	希少猛禽類	モニタリング調査の実施	3月2日に古巣確認。 既知の古巣を対象として林内踏査により猛禽類の使用状況を確認した。古巣N1、N2、N3、N4、N5、N6、N7を確認し、N1ではビデオ撮影によりノスリ面替ペアの成鳥2個体による巣への出入りが確認され、平成30年も営巣していることが確認されたが、他の古巣では猛禽類による使用は確認されなかった。なお、対象事業実施区域の近隣では新たな古巣は確認されなかったが、対象事業実施区域外の平尾富士より南西方向の山麓部で新たな古巣（N10）を確認したが、猛禽類による使用は確認されなかった。	写真モウー1, 2, 3

環境保全措置実施状況写真

	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-1
	撮影日	H30.2.26
	移植個体のキノコ発生に対する処置 キノコ除去作業実施前のヤエガワカンバ全景。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-2
	撮影日	H30.2.26
	移植個体のキノコ発生に対する処置 キノコ除去作業実施後のヤエガワカンバ全景。	
	保 全 対象種	ヤエガワカンバ
	写 真 番 号	ヤエ-3
	撮影日	H30.2.26
	移植個体のキノコ発生に対する処置 高所作業車の使用により、移植個体に発生したキノコによる枯れ枝切除等を実施した。	

環境保全措置実施状況写真

	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">保 全 対象種</td> <td>ヤエガワカンバ</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ヤエ-4</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">果穂(種子)、花穂(雄花序)あり。</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ヤエガワカンバ	写 真 番 号	ヤエ-4	撮影日	H30.3.8	移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)		果穂(種子)、花穂(雄花序)あり。			
保 全 対象種	ヤエガワカンバ												
写 真 番 号	ヤエ-4												
撮影日	H30.3.8												
移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)													
果穂(種子)、花穂(雄花序)あり。													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">保 全 対象種</td> <td>ヤエガワカンバ</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ヤエ-5</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成27年4月23日播種個体の 幼樹移植(植樹)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">ポットの幼木6個体のうち、比較 的樹高の高いNo.3、No.5及び 佐久市・北佐久郡環境施設 組合で育苗した幼木1個体 (No.7)をヤエガワカンバ成木 に近い対象事業実施区域内 に移植(植樹)した。</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ヤエガワカンバ	写 真 番 号	ヤエ-5	撮影日	H30.3.8	平成27年4月23日播種個体の 幼樹移植(植樹)		ポットの幼木6個体のうち、比較 的樹高の高いNo.3、No.5及び 佐久市・北佐久郡環境施設 組合で育苗した幼木1個体 (No.7)をヤエガワカンバ成木 に近い対象事業実施区域内 に移植(植樹)した。			
保 全 対象種	ヤエガワカンバ												
写 真 番 号	ヤエ-5												
撮影日	H30.3.8												
平成27年4月23日播種個体の 幼樹移植(植樹)													
ポットの幼木6個体のうち、比較 的樹高の高いNo.3、No.5及び 佐久市・北佐久郡環境施設 組合で育苗した幼木1個体 (No.7)をヤエガワカンバ成木 に近い対象事業実施区域内 に移植(植樹)した。													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">保 全 対象種</td> <td>ヤエガワカンバ</td> </tr> <tr> <td>写 真 番 号</td> <td>ヤエ-6</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.8</td> </tr> <tr> <td colspan="2">平成27年4月23日播種個体の 幼樹移植(植樹)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(上) 個体No.7 (左下) 個体No.3 (右下) 個体No.5</td> </tr> <tr> <td colspan="2">生長後の枝張りを考慮して各 個体を4~5m離して植樹し た。</td> </tr> </table>	保 全 対象種	ヤエガワカンバ	写 真 番 号	ヤエ-6	撮影日	H30.3.8	平成27年4月23日播種個体の 幼樹移植(植樹)		(上) 個体No.7 (左下) 個体No.3 (右下) 個体No.5		生長後の枝張りを考慮して各 個体を4~5m離して植樹し た。	
保 全 対象種	ヤエガワカンバ												
写 真 番 号	ヤエ-6												
撮影日	H30.3.8												
平成27年4月23日播種個体の 幼樹移植(植樹)													
(上) 個体No.7 (左下) 個体No.3 (右下) 個体No.5													
生長後の枝張りを考慮して各 個体を4~5m離して植樹し た。													

環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒヨウタンボク</td> </tr> </table>	保全対象種	オニヒヨウタンボク
保全対象種	オニヒヨウタンボク		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-1</td> </tr> </table>	写真番号	オニ-1
写真番号	オニ-1		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.8</td> </tr> </table>	撮影日	H30.3.8
撮影日	H30.3.8		
	<p>移植個体の状況確認 (樹木活力度調査)</p> <p>全ての個体で落葉、冬芽形成。 (写真はNo.1個体)</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒヨウタンボク</td> </tr> </table>	保全対象種	オニヒヨウタンボク
保全対象種	オニヒヨウタンボク		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-2</td> </tr> </table>	写真番号	オニ-2
写真番号	オニ-2		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.2</td> </tr> </table>	撮影日	H30.3.2
撮影日	H30.3.2		
	<p>挿し木用挿し穂の採取</p> <p>挿し木用の挿し穂を各移植個体から1~2本、計10本を採取した。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>オニヒヨウタンボク</td> </tr> </table>	保全対象種	オニヒヨウタンボク
保全対象種	オニヒヨウタンボク		
	<table border="1"> <tr> <td>写真番号</td> <td>オニ-3</td> </tr> </table>	写真番号	オニ-3
写真番号	オニ-3		
	<table border="1"> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.8</td> </tr> </table>	撮影日	H30.3.8
撮影日	H30.3.8		
	<p>挿し木の実施</p> <p>平成30年3月2日に採取した挿し穂から分枝した挿し木20本に水上げと発根促進剤を施してプランターへ挿し木した。</p>		

環境保全措置実施状況写真

	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>希少猛禽類</td> </tr> <tr> <td>写真番号</td> <td>モウ-1</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.2</td> </tr> </table>	保全対象種	希少猛禽類	写真番号	モウ-1	撮影日	H30.3.2
保全対象種	希少猛禽類						
写真番号	モウ-1						
撮影日	H30.3.2						
	<p>古巣確認調査</p> <p>古巣N1のビデオ機材設置の様子。</p> <table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>希少猛禽類</td> </tr> <tr> <td>写真番号</td> <td>モウ-2</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.2</td> </tr> </table> <p>古巣確認調査</p> <p>林内踏査の様子。</p>	保全対象種	希少猛禽類	写真番号	モウ-2	撮影日	H30.3.2
保全対象種	希少猛禽類						
写真番号	モウ-2						
撮影日	H30.3.2						
	<table border="1"> <tr> <td>保全対象種</td> <td>希少猛禽類</td> </tr> <tr> <td>写真番号</td> <td>モウ-3</td> </tr> <tr> <td>撮影日</td> <td>H30.3.2</td> </tr> </table> <p>古巣確認調査</p> <p>古巣N1に出入りするノスリ面替ペアの成鳥2個体。平成30年も営巣が確認された。</p>	保全対象種	希少猛禽類	写真番号	モウ-3	撮影日	H30.3.2
保全対象種	希少猛禽類						
写真番号	モウ-3						
撮影日	H30.3.2						

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成29年4月～平成30年3月】

【環境保全措置および事後調査の総括】

移植した成木については生育は概ね順調であるが、サルノコシカケ科と思われるキノコが発生して枯れている枝が見られたため、平成30年2月26日に枯れ枝切除等の処置を行った。播種育苗の個体については途中で枯死した個体もあるが、現在は7個体が生長している。(平成30年3月8日現在)

【措置項目】成木の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年2月	平成30年3月
【事後調査】平成27年4月18日に対象事業実施区域内より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	枝先に雄花序、枝中間部(前年枝)に果穂が確認できる。展葉はまだ始まっていない。	冬芽は膨らんでいるが、展葉はまだ始まっていない。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つ。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つが、大きな変化は見られない。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つが、大きな変化は見られない。	全体的に十分に展葉が進んだが、サルノコシカケ科と思われるキノコの発生した枝には枯れ枝が目立つが、大きな変化は見られない。	黄葉、落葉が始まる。	落葉、果穂(種子)があり、来年の花穂(雄花序)が出ている。	落葉、果穂(種子)、花穂があり、地上に落ちていた果穂を採取した。12/27にキノコ発生に対する処置を検討するため、施工業者立ち会いのもと現地で打合せを実施した。	サルノコシカケ科と思われるキノコが発生した枯れ枝の切除、幹に発生したキノコとコケの除去、幹の胴巻き布の除去、倒木防止用のロープ除去、果穂の採取を実施した。	キノコ処置後の全景。果穂(種子)、花穂(雄花序)あり。
	撮影日:4月12日	撮影日:5月2日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月23日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日	撮影日:2月26日	撮影日:3月8日

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成27年4月23日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	左からNo.①、③、④、⑤、⑥が生育。樹高9～22.2cm、根元直径2～6mm。No.②(左から2番目)は枯死、No.⑥(右端)は枯死した可能性がある。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高16.5～21.0cm、根元直径4～6mm。順調に展葉が始まる。No.⑥(右端)は枯死。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～25.0cm、根元直径4～6mm。順調に展葉が進んでいる。No.①(左端)の上部枝先が枯れる。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～28.5cm、根元直径4～6mm。生育は順調。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～7mm。生育は順調。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～7mm。生育は順調。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～10mm。落葉始まり、冬芽形成。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～10mm。落葉し、冬芽形成。	左からNo.①、③、④、⑤が生育。樹高17.0～30.0cm、根元直径4～10mm。落葉し、冬芽形成。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	比較的樹高の高いNo.③、⑤及び組合で育苗した幼木1本の計3本を、ヤエガワカンバ成木に隣接する対象事業実施区域内に移植(植樹)した。
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		撮影日:3月8日

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成28年4月18日に播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	プランターからポットへの植え替えを行う。No.①(左)は展葉が始まり、No.②(右)は冬芽が膨らむ。	No.①(左)樹高6.5cm、根元直径3mm No.②(右)樹高5.0cm、根元直径2mm ともに展葉が進んでいる。	No.①(左)樹高9.5cm、根元直径4mm No.②(右)樹高8.0cm、根元直径2mm ともに順調に展葉が進んでいる。	No.①(左)樹高11.5cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに生育は順調。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに生育は順調。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに生育は順調。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに落葉中。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに落葉し、冬芽形成。	No.①(左)樹高12.0cm、根元直径4mm No.②(右)樹高12.0cm、根元直径3mm ともに落葉し、冬芽形成。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月21日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【ヤエガワカンバ】

対象期間【平成29年4月～平成30年3月】

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成29年4月21日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
冷凍保存の残りの種子をプランターへ播種した。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	1個体の発芽を確認。樹高3.0cm、根元直径1mm	1個体が生育。樹高7.0cm、根元直径2mm	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径2mm 下の一枚の本葉が枯れる。	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径2mm 落葉中。	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径3mm 落葉中。	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径3mm 落葉中。	1個体が生育。樹高8.0cm、根元直径3mm 落葉中。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月21日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成29年4月21日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
冷凍保存の残りの種子を床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月21日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成29年4月～平成30年3月】

【環境保全措置および事後調査の総括】

移植した成木については生育は概ね順調である。播種育苗についてはプランターとポットで4個体が生育し、床蒔きは発芽が確認できない。挿し木については生育している13本以外に、平成30年3月8日に新たに20本の挿し木を行う(発根促進剤使用)。(平成30年3月8日現在)

【措置項目】成木の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【事後調査】 平成27年4月20日に対象事業実施区域外より対象事業実施区域外へ移植を行い、以降、生育状況のモニタリングを実施。										/	
	全ての個体(No.①～No.⑧)で冬芽が膨らんでいた。	全ての個体で順調に展葉が進んでいた。	全ての個体で十分に展葉し、結実しているが少量。一部の葉に虫食いが見られる。6月27日に成熟した果実を20個採取した。	全ての個体で十分に展葉し、採取せずに残しておいた果実も残っていた。一部の葉に虫食いが見られ、フジが巻き付いていたためフジの根元を切断した。	全ての個体で十分に展葉した。一部の葉に虫食いが見られる。	全ての個体で黄葉が始まり、一部の葉に虫食いが見られる。	全ての個体で落葉が進み、冬芽の形成が見られる。	全ての個体で落葉し、冬芽を形成した。	全ての個体で落葉し、冬芽を形成した。平成28年6月に主幹が折れたNo.⑧は、以降のモニタリングで異常は見られず、順調に生育している。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	全ての個体で落葉、冬芽形成。3月2日に新たな挿し木の挿し穂を各個体から1～2本、計10本を採取した。
	撮影日:4月12日	撮影日:5月2日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月23日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		撮影日:3月8日

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成27年7月15日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。										/	/
	実生は2個体(H28年11月4日時点では5個体であったが3個体減少した)。	実生2個体をポットへ移し替えた。No.①(左)の樹高は5.0cm、根元直径2mm。No.②(右)の樹高は2.5cm、根元直径1mm。	No.①(左)の樹高は6.0cm、根元直径2mm。No.②(右)の樹高は2.5cm、根元直径1mm。	No.①(左)の樹高は7.0cm、根元直径2mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は7.0cm、根元直径2mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は4.0cm(落葉)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は5.0cm(冬芽形成)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は5.0cm(冬芽形成)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。	No.①(左)の樹高は5.0cm(冬芽形成)、根元直径4mm。No.②(右)は枯死。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成27年7月15日に床蒔きし、以降、生育状況のモニタリングを実施。 平成29年6月29日に新たに種子を20個播種。										/	/
	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。移植した成木から6月14日に新たに採取した果実20個から種子40個を取り出し、6月29日に20個をプランターに播種、20個を床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成29年4月～平成30年3月】

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成28年7月6日にプランターへ播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	発芽は確認できない。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)								
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】種子の保存及び播種・育苗

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成29年6月29日に新たに種子20個をプランターに播種。											
			移植した成木から6月14日に新たに採取した果実20個から種子40個を取り出し、6月29日に20個をプランターに播種、20個を床蒔きした。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	2個体発芽(双葉)を確認。	3個体発芽(双葉)を確認(1個体増)。	11月17日にポットへ移し替えを行った。3個体とも双葉であり、No.1は弱っている。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
			撮影日:6月29日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】挿し木及び生育管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成28年3月30日に10本を挿し木し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	芽吹きは確認できない。	芽吹きは確認できない。	全て枯死した。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。	全て枯死。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表
 対象種【オニヒョウタンボク】

対象期間【平成29年4月～平成30年3月】

【措置項目】挿し木及び生育管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成29年3月14日に20本を挿し木し(発根促進剤使用)、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
	20本全てに芽吹きを確認。	20本の内、15本に展葉を確認。	20本の内、12本が展葉。3本が落葉。	20本の内、13本が展葉(1本増加)。	20本の内、13本が展葉(増減無し)。	20本の内、13本が展葉(増減無し)。一部に冬芽形成。	20本の内、13本が生育し、全てが落葉、冬芽形成。	20本の内、13本が生育し、全てが落葉、冬芽形成。11月17日に生育している13本をポットへ移植した。	20本の内、13本が生育し、全てが落葉、冬芽形成。	20本の内、13本が生育し、全てが落葉、冬芽形成。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日:4月12日	撮影日:5月9日	撮影日:6月6日	撮影日:7月11日	撮影日:8月24日	撮影日:9月8日	撮影日:10月17日	撮影日:11月14日	撮影日:12月8日		

【措置項目】挿し木及び生育管理

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】 平成30年3月8日に20本を挿し木(発根促進剤使用)。											
											発根促進剤を施して20本の挿し木を行う。
											撮影日:3月8日

平成29年度 新クリーンセンター環境影響評価事後調査(動物・植物)業務 環境保全措置および事後調査の経過一覧表 対象種【ベニモンマダラ(クサフジ)】

対象期間【平成29年4月～平成30年3月】

【環境保全措置および事後調査の総括】

発芽促進のため種子にやすりをかけて播種したポット(計30ポット)から5個体、やすりをかけずに播種したポット(計30ポット)から4個体の発芽(2個体は枯死した可能性あり)。11月14日に生存している7個体と枯死した可能性のある2個体をベニモンマダラ移殖先の平尾用水法面へ移植した。(平成29年12月8日現在)

【措置項目】生息基盤の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成28年12月5日にクサフジの種子を播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
白いポット: 種子にやすりをかけて播種(20ポット) 黒いポット: 種子にやすりをかけずに播種(20ポット)	発芽は確認できない。	発芽は確認できない。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から1個体、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から1個体の発芽確認。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から3個体、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から2個体の発芽確認したが、それぞれ1個体枯死。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から4個体(2個体増加)、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から5個体(1個体増加)、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から2個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した20ポット(白いポット)から5個体(増減無し)、やすりをかけずに播種した20ポット(黒いポット)から2個体の発芽(増減無し)。	生存している7個体および枯死した可能性のある1個体を平尾用水法面へ移植した。	11月14日に移植したクサフジは休眠期に入り、地上部は枯れていた。	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日: 4月12日	撮影日: 5月9日	撮影日: 6月6日	撮影日: 7月11日	撮影日: 8月24日	撮影日: 9月8日	撮影日: 10月17日	撮影日: 11月14日	撮影日: 12月8日		

【措置項目】生息基盤の移植

環境保全措置・事後調査の内容	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1～2月	平成30年3月
【環境保全措置】平成29年4月12日にクサフジの種子を播種し、以降、生育状況のモニタリングを実施。											
白いポット: 種子にやすりをかけて播種(10ポット) 黒いポット: 種子にやすりをかけずに播種(10ポット)	播種を実施。	発芽は確認できない。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽確認。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られないが、やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から1個体の発芽(増減無し)。	発芽促進のため種子にやすりをかけて播種した10ポット(白いポット)からは発芽は見られない。やすりをかけずに播種した10ポット(黒いポット)から発芽した1個体は葉が無く、枯死した可能性あり。	枯死した可能性のある1個体を平尾用水法面へ移植した。		(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)	(冬季及び降雪等で対象種が休眠期に当たり、生育状況に変化は見られないためモニタリングは実施しない。)
	撮影日: 4月12日	撮影日: 5月9日	撮影日: 6月6日	撮影日: 7月11日	撮影日: 8月24日	撮影日: 9月8日	撮影日: 10月17日	撮影日: 11月14日			

◆施工状況等報告書添付資料「対象事業の実施状況一覧表」

1. 新クリーンセンター整備スケジュール(案)

区分	平成26年度				平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度				平成31年度				平成32年度																												
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12
環境影響評価手続	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
都市計画決定手続等					★	★	★	★	★	★	★	★																																									
施設用地造成工事									★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★					
施設本体建設工事	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★					

2. 対象事業の実施状況一覧

年度	平成27年度				平成28年度			
	第1回報告 4月～6月	第2回報告 7月～9月	第3回報告 10月～12月	第4回報告 1月～3月	第5回報告 4月～6月	第6回報告 7月～9月	第7回報告 10月～12月	第8回報告 1月～3月
実施状況	現在、造成工事等については、未着手である。 【都市計画決定手続】平成27年7月8日付けで本事業に係る都市計画が決定。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得に係る税務署事前協議】平成27年8月19日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議を開始。 【敷地造成工事】造成計画の精査を実施。また、造成工事費の積算を行っている。	現在、造成工事等については、未着手である。 【用地取得関係】平成27年11月26日付けで本事業に係る用地取得のための税務署事前協議が完了。法人及び個人地権者と用地取得に係る契約を締結し、用地取得手続が概ね完了している。 【敷地造成工事】造成工事費の積算を行い、精査を実施している。	現在、造成工事等については、未着手である。 【敷地造成工事】平成28年3月14日付けで入札公告、同3月30日に入札が行われた。残土運搬先について、該当する個人地権者へ説明。一部から了承を得られた。 【施設本体建設工事】平成28年3月14日付けで入札公告、参加表明締切を同4月28日に予定している。	平成28年6月6日、敷地造成工事に着手した。同日付で「対象事業着手報告書」を県へ提出した。 【敷地造成工事】6月は準備工として、敷地内の伐採と測量作業を行った。 【施設本体建設工事】平成28年4月28日付けで入札参加表明を締切り、同6月27日付けで提案書の提出を受けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】敷地の掘削を開始した。管渠工事が完了した。 【施設本体建設工事】平成28年8月9日に開札及び総合評価を実施した。同9月1日、表明を締切り、同6月27日付けで提案書の提出を受けた。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】掘削が続いている。 【施設本体建設工事】平成28年10月25日建設請負契約を締結。実施設計協議を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良の準備を進め、開始した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。
年度	平成29年度				平成30年度			
回数	第9回報告 4月～6月	第10回報告 7月～9月	第11回報告 10月～12月	第12回報告 1月～3月	第13回報告 4月～6月	第14回報告 7月～9月	第15回報告 10月～12月	
実施状況	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の地盤改良を終え、擁壁本体の施工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界へ植樹を開始した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁の一部が、最上段まで積み上がった。ブロック積工及び法面工に着手した。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。 【植栽工事】隣接地との境界への植樹が完了した。	建設予定地では、敷地造成工事が行われている。 【敷地造成工事】テールアルメ擁壁が完成し、敷地造成工事は、わずかな排水路工事を残すのみとなった。 【施設本体建設工事】実施設計協議を継続中。平成29年12月8日に建築確認の申請を行った。	建設地では、敷地造成工事が竣工し、建設工事に着手した。 【敷地造成工事】平成30年2月28日に竣工した。 【施設本体建設工事】実施設計が完了した。平成29年12月8日に行った建築確認の申請について、平成30年1月31日に手続きが完了した。公害防止関係、廃棄物の処理及び清掃に関する法律関係の届出等、監督官公庁への手続きが完了した。平成30年3月27日より山留工事に着手した。				